

アトラクション

小中学校の思い出を振り返る

式典前に『20年のあゆみ』と題した動画を上映しました。成人式実行委員が小中学生の頃の懐かしい写真を卒業アルバムなどから選定し、それに合わせたナレーションを作成・収録しました。

先生たちからのメッセージ

小中学校時代の先生からのビデオメッセージが届きました。これは、成人式実行委員が先生たちを訪問し、撮影・編集したものです。先生からは「周りの仲間を信じ、助け合いながら頑張ってほしい」と激励のメッセージが送られました。

令和6年

成人式

はたち
— 二十歳のつどい —



当日の様子は、
市公式 YouTube
で公開中！



1月7日(日)、野々市小学校体育館で成人式「二十歳のつどい」が開催されました。今年の対象者は男性524人、女性289人の計813人。例年は文化会館フォルテを会場に開催していますが、今回は令和6年能登半島地震の影響でフォルテが使用できず、急きょ野々市小学校体育館へ会場を移しての実施となりました。

式の冒頭では、令和6年能登半島地震の犠牲者へ黙とうがさげられました。

成人式実行委員

野々市市の成人式は、対象者の中から有志が「成人式実行委員会」を組織し、自分たちの手で運営しています。今年のメンバーは総勢22人の皆さん。事前の打ち合わせやアトラクションの準備、当日の進行など、力を合わせて進めました。

令和7年 成人式実行委員募集！

令和7年(2025年)野々市市成人式「二十歳のつどい」で運営に協力してくれる実行委員を大募集！
下記へ気軽に連絡してください。

問い合わせ
生涯学習課 ☎ 227-6117

新成人のことば

現在私たちは、社会の中でたくさんの人に支えられて日々を過ごしています。二十歳を迎え、すでに就職している方や、学業に励んでいる方など立場はさまざまですが、一人一人が社会の一員として自分の行動に責任を持ち、このたびの地震の被害に遭われた方々に思いを巡らせ、常に相手の立場に立ち、心遣いのできる人となるよう取り組んでいきます。そして、今日までの20年間、お世話になった全ての方々とのつながりを大切にして、感謝の気持ちを胸に、これまでの経験を生かし、未来に向かって歩んでいくことを誓います。

新成人代表 上本 真嘉さん



市長のことば

デジタル社会が進展しても、目の前の人と人とのつながりが人生では大切であるという点、それは今回の能登半島地震で、全ての人が感じたことではないかと思えます。AI技術やSNS、テクノロジーが進化しても、思いやりや助け合い、友情や家族の愛、他者へのリスペクトというものが、人生に必要不可欠であるということ、皆さんにとっては、これからも周りの大切な方々との絆を大切に、共に成長していけることが、豊かな人生を築くうえで大事だと私は思っています。「自分はこれからどう生きるのか」をあらためて自らに問いかけ、人生を歩んでいくことを期待しています。



新成人に聞く！

着物コーディネート インタビュー

毎年移り行く成人式スタイルのトレンド。
和服のレトロさと、今ドキっぽさと、自分っぽさと。
こだわりの詰まった晴れ姿取材しました！



河原 来愛さん
(左・野々市中出身)
みんなと被らないようにしながらも、派手過ぎず、古風な雰囲気も意識してセレクトしました。

濱田 楓さん
(右・野々市中出身)
髪色に合わせ、金を散りばめて全身コーディネート。最後はお母さんと一緒に選びました。

松村 優玖さん
(布水中出身)
着付けはお母さん、ラメをあしらった髪の毛のセットはお父さんがしてくれました。出来に120%満足しています！



釜親 憧さん
(左・布水中出身)
お母さん姉妹も着た振り袖に合わせ、帯とカバンは自分らしいものを選びました。ヘアアレンジには生花を使っています。

堀口 亜樹さん
(右・布水中出身)
パツと見て気に入った振り袖を選びました。前撮りとは違う雰囲気も楽しみたいと思い、学生時代によくしていたポニーテールをもとにしたヘアスタイルにしました。



フォト レポート



色鮮やかな振り袖や羽織はかま、ビシッと決めたスーツなど、きらびやかな服をまとい集った皆さん。旧友との再会を喜び、思い出話や近況報告に花を咲かせました。そんな喜びあふれる二十歳の皆さんの様子を写真で紹介します。載せきれなかった写真は市ホームページ広報アルバムにも掲載しています。



広報アルバム